

製品安全データシート

【1 . 製品名及び会社情報】

製品名 : OS GCコート1100
 会社名 : オンサイト株式会社
 住 所 : 埼玉県春日部市大畑155-2
 TEL : 048-812-7100 FAX : 048-812-7123
 作成日 : 2016年3月24日
 改定日 : 2022年12月8日

【2 . 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 一般名 : シリコーン混和物

化学物質名	含有量 (%)	化審法	安衛法 通知物質	C A S No.	P R T R法
アルコキシシロキサン	95	登録済	—	社外秘	—
アルコキシド	5	登録済	—	社外秘	—

GHS分類
 ラベル要素



物理化学的危険性 :

引火性液体 : 区分4

健康に対する有害性危険有害性の分類に該当するという情報はありません。

環境に対する有害性危険有害性の分類に該当するという情報はありません。

*上に記載がない危険有害性は、「区分外」、「分類対象外」または「分類できない」である。

注意喚起語 : 警告

物理的特性 : H225 : 引火性のある液体及び蒸気

健康 : H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険の恐れ H336 眠気あるいはめまいの恐れ

注意書き

安全対策熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 容器を接地すること/アースをとること。 容器を密閉しておくこと。 屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく洗うこと。

その他の危険有害性情報 :

本品は水、湿気及び空気中の水分と反応して（加水分解）、微量だが下記化合物を生成する。
 メタノール

重要な兆候：

長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。

想定される非常事態の概要：

熱、火花または炎で発火する恐れ。飲み込むと有害（経口）。強い眼刺激。呼吸器系に刺激を起すことがある。生殖に影響を与えることがある。臓器の障害のおそれ。

保管：施錠保管すること。容器を密栓し保管すること。換気の良い30℃以下の冷暗所にて保管すること。

廃棄：容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理すること。

【3．危険有害性の要約】

最重要危険有害性及び影響

- ・引火、爆発の危険性有り

人の健康に対する有害な影響

- ・本品の主なる有害性は加水分解によって徐々に生成するメタノールに起因する。

蒸気吸入；呼吸器系に弱い刺激性を示す可能性有り。

比較的低レベルの毒性を有する。

皮膚接触；弱い刺激性を示す可能性有り。

眼、粘膜接触；刺激性を示す可能性有り。

環境への影響

- ・知見なし

特定の危険有害性

- ・知見なし

化学物質等の分類(分類基準は日本形式) ・引火性液体

【4．応急措置】

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡を取りその指示に従う。

吸入した場合：新鮮な空気の場所へ移し、安静にさせる。

嘔吐が自然に生じたときは、気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。水でうがいをする。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、大量の水及び石鹼で付着部分を十分に洗い流す。

目に入った場合：目と接触した場合には直ちに、多量の水で洗い速やかに医師の手当をける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせない。

嘔吐が自然に生じたときは、気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。被災者が意識のある場合、水で口の中を洗浄する。

応急措置をする者の保護：救助者が有害物質に触れないよう、適切な保護具(暴露防止及び保護措置の項参照)を着用する。

【5．火災時の措置】

消火剤：粉末、泡、二酸化炭素

不適切な消火剤：水

特定の消火方法：

- 1) 周辺火災の場合 ・速やかに移動可能な容器を安全な場所に移す。
・移動不可能な場合は容器及び周囲に散水し、冷却する。
- 2) 着火した場合 ・火元への燃焼源を断ち、風上から消火する。
・水噴霧して火災に暴露されている表面を冷やす。
・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火を行う者の保護：消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器（SCBA）を着用する。

【6 . 漏出時の措置】

人体に対する注意事項

- ・ 作業者は必ず保護具(暴露防止及び保護措置の項を参照)を着用する。
- ・ 屋内の場合、処理が終わるまで十分な換気を行う。
- ・ 漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

- ・ 漏出物が河川、公共水路等に流れ込むのを防止する。
- ・ 成分の蒸気が大気中へ揮発するのを少なくするため、回収作業は速やかに行うこと。

除去方法

- ・ 漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。
- ・ 残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。
- ・ 回収するときは、火花の出ない器具を用いる。

二次災害の防止

- ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・ 漏出した場所の周辺には、作業員以外の立ち入りを禁止する。
- ・ 万一、河川、公共水路等に多量に入った場合、直ちに地方自治体の公害担当者に連絡する。

【7 . 取扱い及び保管上の注意】

取扱い：技術的対策・適切な保護具(暴露防止及び保護措置の項を参照)を着用する。

- ・ 蒸気の発散をできるだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つ。
- ・ 局所排気装置を設け換気を良くすること。
- ・ 容器、梱包、袋等は注意して取扱い、開けること。
- ・ 電気計装機器は防爆構造のものを使用すること。

注意事項

- ・ 屋外では風上から作業し、屋内では局所排気装置の設置された場所で作業する。
安全取扱い注意事項

- ・ 火気厳禁。着火源に近づけない。
- ・ 使用後は速やかに容器を密閉し、蒸気の発散を抑える。
- ・ 容器を転倒させ、衝撃を加え、また引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

保管：

- ・ 容器又は包装を密閉遮光し、30℃を超えない温度で保管する。
- ・ 危険物であるので消防法令に従うこと。
- ・ 直射日光を避ける。熱源、着火源から離して保管する。

安全な容器包装材料

- ・ 密閉可能な金属製等の容器を用いる。

【8 . 暴露防止及び保護措置】

暴露軽減設備対策

- ・ 取扱いについては、局所排気装置を設置した場所で行うこと。

管理濃度：メタノール(分解生成物) 200 ppm

許容濃度：メタノール(分解生成物) 日本産業衛生学会(2002年度) 200 ppm

ACGIH(2002年度) TLV-TWA(皮) 200 ppm

保護具： 呼吸器用保護具 防毒マスク(有機ガス用、送気マスク、自給式呼吸器)

手の保護 具保護手袋(耐油性ゴム製)

目の保護具 保護眼鏡(ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具 保護服(帯電防止型長袖、長ズボン)、保護靴(帯電防止型)

適切な衛生対策

- ・ 保護具は清潔な一定の場所に保管し、有効期限が切れたものは使用しない。
- ・ 取扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明示する。

【 9 . 物理的及び化学的性質】

外観 : 褐色透明液体 臭気 : 微臭
沸点 : データなし 蒸気圧 : データなし
融点 : 該当せず 比重(密度) : 1.08 (g/cm³)
溶解度 : 水に難溶(加水分解性有り) 有機溶剤に可溶
引火点 : 63 °C(セタ密閉式)
発火点 : 200 °C以上
爆発限界 : (下限) 未測定 (上限) 未測定

【 10 . 安定性及び反応性】

安定性・反応性 : 空気中の水分と反応し、徐々に引火性のメタノールを発生する。

【 11 . 有害性情報】

皮膚刺激性 : 皮膚刺激 20mg/24hr 中刺激性(ウサギ)(メタノール:分解生成物)
500mg/24hr 軽度の刺激性(ウサギ)(イソプロピルアルコール)
眼刺激性 : 眼刺激 100mg/24hr 中刺激性(ウサギ)(メタノール:分解生成物)
10mg/24hr 中刺激性(ウサギ)(イソプロピルアルコール)
急性毒性 : メタノール(分解生成物) LD₅₀ 検体:ラット経口5,628 mg/kg
LC₅₀ 検体:ラット吸入64,000 ppm/4hr
慢性毒性 : 結膜炎、頭痛、めまい、不眠、胃腸障害、視力障害を起こす可能性有り。
(メタノール:分解生成物)

【 12 . 環境影響情報】

分解性 : データなし 蓄積性 : データなし
魚毒性 : データなし

【 13 . 廃棄上の注意】

焼却処理。その際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って処理すること

【 14 . 輸送上の注意】

国際規制 IATA : 該当しない。 IMDG : 該当しない
国内規制国内輸送については15章の規制に従うこと。
緊急時応急措置指針番号 128

【 15 . 適用法令】

消防法 : 危険物第4類 第2石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性液体
労働安全衛生法 : 通知物質;該当しない
船舶安全法 : 該当しない
航空法 : 該当しない
化学物質管理促進法(PRTR法) : 該当しない

【 16 . その他の情報】

- 1) 参考文献 : 1)「労働安全衛生法対象物質全データ」化学工業日報社
2)「製品安全データシート作成実務必携」化学工業日報社
3)原料メーカーの製品安全データシート

- 2) 記載内容の問い合わせ先 :

オンサイト株式会社 TEL : 048-812-7100 FAX : 048-812-7123

- ※ 本資料は、信頼得ると考えられる資料に基づき一般的な取り扱い等を前提に作成したものでありますが、ご使用になられる各位は、自らの責任に於いて個々の取り扱い等の実態に応じた適切なる措置をお取り下さい。
記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。